



# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5(FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3  
日本共産党京都市議員団 5 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '16年 3月 6日号  
市議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail [cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp)



## 来年度市予算案の主な特徴

①「財政危機」を口実に職員数123人=10億円を削減、②「社会福祉関連経費…を含む…すべての予算について改革を徹底し…」31億円を削減、③市バス地下鉄への繰り入れ金を10億円減らす、④土地などの公有財産の売却などで30億円を収入。

一方、クリーンセンターでの不要な展望台や車優先の道路拡幅計画、無謀な新幹線誘致などムダ遣いも多い。また「財政危機」の根源である政府の「地方創生」=地方財政切り捨て政策に追随し、言いなり。

なお、市の「京プラン後期計画=今後5年間の計画」では、①は800人=170億円、②は計600億円削減との計画になっている!! (写真は、党市議団主催、市政報告・要求懇談会=2/26)。

### ＝主な予算項目＝

- ◎ JR 西大路駅バリアフリー化に向け「基本構想策定連絡会議」を開催、基本構想を策定していく。
- ◎ 現洛陽工業高校に塔南高校を移転、その為の基本構想の策定に着手する。
- ◎ 八条団地の全面建替えに向け、民間のコンサルタント会社に実施方針の検討を委託。
- ◎ 京都駅八条口を引き続き整備。
- ◎ 京都駅東南部「活性化」方針の策定。
- ◎ 国民健康保険料率は据え置き。
- ◎ 生活保護費予算は大幅引き下げ。

▼子ども医療費を中学校卒業まで無料に。  
 ●お金がかかるとい。  
 ▼市長の気持ちの問題。  
 ●市民が買うゴミ袋代市の収入は18億。しかし製造経費は7億で、残り11億は、市が他の事業に流用している。少なくとも11億円の削減は効果があり、ゴミ減量は効果がない。と、聞く耳持たず。

## 「行財政改革」＝人員削減十事業の見直し 来年度市予算案と市議会代表質問より

開会中の市議会に、市長が来年度予算を提案しています。「財政危機」を口実に、市長は「行財政改革」を強調、しかしこの改革とは、市民サービス低下につながる職員の大幅削減と、福祉分野を含めた既存施策・事業の「見直し」切り捨てること」に他なりません。そもそも財政危機と言うならば、ムダな事業や市長退職金などは削減すべき

3月1・2両日、市議会にて、各党代表質問がありました。日本共産党からは、山中渡(下京)、河合葉子(西京)、山根智史(伏見)の三氏が登壇、

来年度市予算案について質問しました。主な質問と市長らの答弁、井上銀の感想を紹介します。

○(質問) 中小企業支援  
 ▼(感想) 市民の購買力

を。○(答弁) 首都圏や海外での注文拡大をめざしている。競争に勝ち抜く体質強化が必要。  
 ○市役所では非正規は2

割ぐらい。市から民間団多への委託も適正に行っている。企業にも正規職員雇用を要請。  
 ▼特に委託の場合、労働者の解雇や不安定雇用化、賃下げなどの問題が、実際に起こっている。  
 ●TPPで、公共事業に外国企業が参入してくる。  
 ○市内企業に受注してもらえるよう頑張る。  
 ▼そんな甘いものではない。



選挙法改正 消費増税ストップ  
 安倍政権をストップ  
 志位和夫 議員長 衆議院議員  
 がお話します。  
 衆院3区補選・参院選での日本共産党の勝利・躍進を  
 日本共産党大田区演説  
 3月20日(日) 4時～京都駅前  
 JCP 京博